

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	国語	科目	論理国語	単位数	2
学年・科	3年・普通科・キャリア探究コース・総合				
教材	教科書	精選 論理国語 (三省堂)			
	副教材				
学習目標	多様な見方、考え方、感じ方にふれ、物事を総合的に捉えることのできる、幅広い人間性、豊かな感性と判断力を育てる。また、自ら学び自ら考える意欲を喚起して、主体的に生きていく力を育み、国語の力を育成する。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	一 言葉を見つめるⅡ 「対話」の言葉をつくる	<ul style="list-style-type: none"> 社会的視点から言葉を考える 「対話」の言葉のあり方を考える 	期末 考查
	二 国際社会を考える 南の貧困/北の貧困	<ul style="list-style-type: none"> これからの国際社会の課題について考える 現代の「貧困」問題を構造的に捉え直す 	
2 学期	三 近代・現代社会を考える コンクリートの時代	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会を歴史の中で捉え直す コンクリート建築から「近代」という時代の特徴を考える。 	期末 考查
	四 心と向き合う 恐怖とは何か	<ul style="list-style-type: none"> 心についてさまざまな視点から考える 人はなぜ「恐怖」を感じるのか、「自我」との関わりから理解する 	
3 学期	五 経済について考える 落語の中の経済学	<ul style="list-style-type: none"> 経済との関わりから社会的課題について考える 落語「千両みかん」を経済学的な視点で読み直す 	

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<p>論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</p>	<p>設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報に関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。</p>	<p>進んで言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする言葉の働きを理解し、学習課題に沿って、関連する文章の書き手の立場や目的を考えながら内容の解釈を深め、比較して論じようとしている。</p>

評価方法	定期考查のほか、課題やノートなどの提出物、授業に取り組む態度などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	日頃から言葉や文章に興味・関心を持ち、インターネットなどを活用して積極的に調べたり、辞書で確認したりしましょう。新書などを読んでみるのもよいでしょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	国語	科目	文学国語	単位数	3
学年・科	3年・普通科・キャリア探究コース				
教材	教科書	精選 文学国語 (三省堂)			
	副教材				
学習目標	多様な見方、考え方、感じ方にふれ、物事を総合的に捉えることのできる、幅広い人間性、豊かな感性と判断力を育てる。言語事項を総合的に学習し、国語に関する知識を深めることにより、国語に対する関心を高め、国際社会に生きる国語の力を獲得させる。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	一 読むこと・書くこと・語ること 本を読むと路に迷う 想像し物語ること	<ul style="list-style-type: none"> 本を読むことの「幸福」について考える。 「想像力」のはたらきを理解する。 	中間 考查 期末 考查
	二 小説 (一) ベル・エポック 靴	<ul style="list-style-type: none"> 「私」の視点で描かれていることに留意して登場人物の関係を捉える。 「靴」の意味を考えることを通して、自分のものの見方、考え方を深める。 	
	三 詩歌 永訣の朝	<ul style="list-style-type: none"> 表現形式や修辞の効果に着目し、それぞれの詩の理解を深める。 	
2 学期	四 文学の共同制作 連詩の愉しみ	<ul style="list-style-type: none"> 連詩をつくることを通して、文学の共同制作の意義を理解する。 	中間 考查 期末 考查
	五 小説 (二) 靴の話	<ul style="list-style-type: none"> 「事実」という言葉を手がかりに「私」の戦争体験を理解する。 戦争の記憶を語り継ぐことの意義を考える。 	
	六 翻訳の言葉 『雪国』の謎一夜の底とは何か	<ul style="list-style-type: none"> 優れた翻訳について考える。 外国文学を翻訳で読むことの意味を考える。 	
3 学期	七 小説 (三) 檸檬	<ul style="list-style-type: none"> 事物の描写に着目して、「私」の心情を理解する。 「檸檬」の舞台・時代背景を調べ、作品への理解を深める。 	
	八 評論 陰翳礼讃	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの評論について文体の特色を理解する。 	

評価の 観点の 趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<p>文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。</p> <p>文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。</p> <p>人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。</p>	<p>語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、解釈している。</p> <p>作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。</p> <p>文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。</p>	<p>進んで文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深め、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して解釈しようとしている。</p>

評価方法	定期考査のほか、課題やノートなどの提出物、授業に取り組む態度などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	日頃から言葉や文章に興味・関心を持ちましょう。作者の他の作品を読んだり、教科書に取り上げられた作品を全文読んだりするのもよいでしょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	3
学年・科	3年・普通科 キャリア探究コース				
教材	教科書	高等学校 日本史探究 (第一学習社)			
	副教材	学習事項の整理と問題 日本史探究ノート (第一学習社)			
学習目標	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	第1章 原始・古代の日本と東アジア 第1節 日本文化の黎明 第2節 ヤマト政権と律令国家の形成 第3節 律令国家の変容 第2章 中世の日本と世界 第1節 中世への転換 第2節 鎌倉幕府の展開 第3節 室町幕府の展開	旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立に至る時期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解する。 平安時代末から戦国時代までを扱い、中世がどのような時代であったかを東アジアやユーラシアの動向と関連付けて考察することを通して、学習する。	中間 考查 期末 考查
	第3章 近世の日本と世界 第1節 近世への転換 第2節 幕藩体制の確立 第3節 幕藩体制の展開 第4節 社会の変化と幕府の対応 第4章 近現代の地域・日本と世界 第1節 近代への転換 第2節 近代国家の形成 第3節 国際関係の推移と近代産業の発展 第4節 第一次世界大戦と日本 第5節 軍部の台頭と戦争の長期化	安土桃山時代から江戸時代までを扱い、近世がどのような時代であったかを世界の動向と関連付けて考察することを通して、総合的に捉えて学習する。 近世の幕末期から現代までを扱い、世界の情勢の変化とそこにおける日本の相互の関係を多面的・多角的に考察することを通して、日本の近現代の歴史を学習する。	中間 考查 期末 考查
3 学期	第6節 日本の再建 第7節 経済の発展 第8節 経済大国とグローバル化 第5章 現代の日本の課題と探究	歴史の画期、日本や世界との歴史的な関係などに着目して、現代の日本の課題の形成に関わる歴史について、多面的・多角的に考察、構想して表現する。	

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、次期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想している。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりをふまえて主体的に追及しようとしている。

評価方法	1 知識・技能 … 定期考查の結果をもとに評価します。授業中に行う作業学習などをもとに評価します。 2 思考・判断・表現 … 定期考查の結果や、授業中に行う作業学習などをもとに評価します。 3 主体的に学習に取り組む態度 … 授業態度・提出物などをもとに評価します。
アドバイス	歴史的事象の背景に興味・関心を持ち、教科書やインターネットを活用して積極的に調べたり、ノートにまとめたりしましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	地理歴史	科目	日本史研究	単位数	2
学年・科	3年・普通科 キャリア探究コース 総合				
教材	教科書	なし			
	副教材	学習事項の整理と問題 日本史探究ノート (第一学習社)			
学習目標	1 史料に学ぶことで歴史的思考力を身に付けることを目指す。 2 史料を学ぶことを通じて、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	近現代 1 日米和親条約 2 日米修好通商条約 3 大政奉還 4 五箇条の誓文 5 大日本国帝国憲法 6 条約改正と三国干渉	江戸末期からの幕藩体制の動揺と欧米列強のアジア進出について学習する。 明治維新の政治改革と、近代産業の発達とその変化について学習する。	期末 考查
2 学期	7 護憲運動 8 民本主義と天皇機関説 9 社会運動の弾圧 10 満州事変 11 二・二六事件	大正・昭和初期における日本の政治や社会の変動について学習する。 国際関係における日本の立場と第二次世界大戦までの歴史を学習する。	期末 考查
3 学期	12 カイロ宣言とポツダム宣言 13 日本の民主化 14 国際社会の復帰	第二次世界大戦後の日本の政治や社会の動向を国際政治の動きと関連させながら学習する。 現代の日本社会が直面する課題について考察する。	

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点の趣旨	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。

評価方法	1 知識・技能 … 定期考查の結果をもとに評価します。授業中に行う作業学習などをもとに評価します。 2 思考・判断・表現 … 定期考查の結果や、授業中に行う作業学習などをもとに評価します。 3 主体的に学習に取り組む態度 … 授業態度・提出物などをもとに評価します。
アドバイス	歴史を学ぶことを通じて、事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを考察し、よりよい社会の実現を視野に、現代日本の課題を探究することを目指しましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	2
学年・科	3年・普通科 キャリア探究コース				
教材	教科書	高等学校 政治・経済 (第一学習社)			
	副教材	政治・経済ノート (第一学習社)			
学習目標	社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	第1編 現代日本の政治・経済の諸課題 第1章 現代日本の政治・経済 [政治分野] [経済分野] 第2章 現代日本の諸課題の探究	政治分野では、日本国憲法と現代政治のあり方、望ましい政治のあり方と主権者としての政治参加のあり方を学習する。 経済分野では、市場経済の機能と限界、持続可能な財政および租税のあり方、金融を通じた経済活動の活性化、経済活動と福祉の向上を学習する。	中間 考查 期末 考查
2 学期	第2編 グローバル化する国際社会の諸課題 第1章 現代の国際政治・経済 [政治分野] [経済分野] 第2章 国際社会の諸課題の探究	政治分野では、国際法の果たす役割、国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について学習する。 経済分野では、相互依存関係が深まる国際経済の特質、国際経済において求められる日本の役割について学習する。	中間 考查 期末 考查
3 学期	現代社会の諸課題	個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などに着目して学習する。公正さの観点として、手続きの公正さや、機会の公正さ・結果の公正さに留意する。	

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断している。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

評価方法	1 知識・技能 … 定期考查の結果や、授業中に行う作業学習などをもとに評価します。 2 思考・判断・表現 … 定期考查の結果や、授業中に行う作業学習などをもとに評価します。 3 主体的に学習に取り組む態度 … 授業態度・提出物などをもとに評価します。
アドバイス	現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	数学	科目	数学Ⅱ	単位数	2
学年・科	3年 普通科 キャリア探究コース 総合				
教材	教科書	新編 数学Ⅱ (数研出版)			
	副教材	新課程 Study-upノート 数学Ⅱ (数研出版)			
学習目標	指数関数・対数関数、微分・積分の考えについて理解し、基礎的な知識と技能を習得して、事象を数学的に考察する力や、数学のよさを認識して活用する態度を身に付ける。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数	・指数関数について学習し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	中間 考查
	第2節 対数関数	・対数関数について学習し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	期末 考查
2 学期	第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数	・微分係数や導関数の意味を学習し、それらの有用性を認識したり、事象の考察に活用したりする。	中間 考查
	第2節 関数の値の変化	・導関数の理解を深め、導関数の有用性を認識できるようにする。	期末 考查
	第3節 積分法	・積分の考えについて学習し、それらの有用性を認識したり、事象の考察に活用したりする。	
3 学期	まとめ・総復習	・数学Ⅱの内容全般について総復習をし、数学の有用性を認識したり、事象の考察に活用したりする。	

評価 規 準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能が身に付いている。	関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力が身に付いている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎が身に付いている。

評価方法	考查・授業ノート・提出物・小テスト・授業での応答など、全ての学習活動を評価の対象とし、上記の3つの評価規準から総合的に評価します。
アドバイス	日々の授業を大切に、課題に丁寧に取り組んで、継続して学習を積み重ねていきましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	数学	科目	数学研究B	単位数	2
学年・科	3年 普通科 キャリア探究コース・ライフデザイン科				
教材	教科書	数学研究B (小松高校数学科編)			
	副教材	学校設定科目用学校作成教材			
学習目標	数と式、集合と命題、2次関数、図形と計量、データの分析、場合の数と確率、及び数学と人間の活動の基礎的な知識と技能を習得して、事象を数学的に考察する力や、数学のよさを認識して活用する態度を身に付ける。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	第1章 数と式	<ul style="list-style-type: none"> 式を、目的に応じて1つの文字に着目して整理したり、1つの文字におき換えたりするなどして既に学習した計算の方法と関連付けて、多面的に捉えたり、目的に応じて適切に変形したりする。 不等式の解の意味や不等式の性質について学習し、不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察したり、具体的な事象に関連した課題の解決に1次不等式を活用したりする。 	中間 考查
	第2章 集合と命題	<ul style="list-style-type: none"> 集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用できるようにする。 	
	第3章 2次関数	<ul style="list-style-type: none"> 2次関数のグラフを通して関数の値の変化を考察し、2次関数の最大値や最小値を求めることができるようにする。 2次方程式や2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求められるようにする。 	期末 考查
2 学期	第4章 図形と計量	<ul style="list-style-type: none"> 三角比の意味やその基本的な性質について学習し、三角比の相互関係などを理解できるようにする。また、日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、問題解決に三角比を活用できるようにする。 	中間 考查
	第5章 データの分析	<ul style="list-style-type: none"> データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を学習し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、批判的に考察したりできるようにする。 	
	第6章 場合の数と確率	<ul style="list-style-type: none"> 場合の数や確率の意味や基本的な法則について学習し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 	期末 考查
3 学期	第7章 数学と人間の活動	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな人間の活動の中から、整数を中心とした数学的な要素を見出し、数学の内容の理解を深める。また、学習の中で、現実の事象を、数学を用いて考察できるようにする。 	

評価の 観点の 趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	各単元についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。また、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能が身に付いている。	条件や結論に着目し数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察し、判断する力が身に付いている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎が身に付いている。

評価方法	<p>考查・授業ノート・提出物・小テスト・授業での応答など、全ての学習活動を評価の対象とし、上記の3つの評価規準から総合的に評価します。</p>
アドバイス	<p>日々の授業を大切に、課題に丁寧に取り組んで、継続して学習を積み重ねていきましょう。</p>

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	2
学年・科	3年 普通科 キャリア探究コース ビジネス				
教材	教科書	高校地学基礎 (実教出版)			
	副教材	ビジュアルプラス地学基礎ノート (実教出版)、地学学習帳 (高教研理科部会地学部門)			
学習目標	日常生活や社会との関連を図りながら、地球科学についての理解を深め、科学的に探究するために必要な実験、観察の基本的な技能を身に付ける。また、地球環境問題や自然災害などを通して自然の貴重さに気付き、自然環境の保全に寄与する態度を養う。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	第1章 地球の構成と運動 1節 地球の構造 2節 プレートの運動 3節 地震と火山	<ul style="list-style-type: none"> 地球の大きさの計算方法を学び、理解を深める。また、地球の詳細な形について学ぶ。 地球表面の地形や地震・火山活動の起こっている場所から地球表面がプレートで覆われていることを学び、プレートテクトニクスを理解する。 地震・火山活動について理解を深め、自身の防災・減災活動に活用するような姿勢を育む。 	中間 考查 期末 考查
2 学期	第2章 大気と海洋 1節 大気と運動 2節 大気の大循環 3節 海洋の構造と海水の運動 4節 日本の四季の気象と気候 第3章 宇宙、太陽系と地球の誕生 1節 宇宙の誕生 2節 太陽の誕生 3節 惑星の誕生と地球の成長	<ul style="list-style-type: none"> 大気の構造について学び、流体としての大気の運動を理解する。 地球の熱収支を理解し、地球表面で生じている大気の大循環を説明できるようにする。 日本の四季の気象について気圧配置や気象現象を学ぶ。 宇宙の誕生について、太陽系や地球の誕生との時間的、空間的スケールの違いを踏まえながら学び、自身と宇宙とのつながりを理解する。 	中間 考查 期末 考查
3 学期	第4章 古生物の変遷と地球環境の変化 1節 地層のつき方 2節 化石と地質時代の区分 3節 古生物の変遷と地球環境 第5章 地球の環境 1節 日本の自然環境 2節 地球環境の科学	<ul style="list-style-type: none"> 地層のつき方や化石のつき方について学び、地層や化石が地球環境の変遷を証拠として残すことを理解する。 地球環境の変遷を学び、今後の地球環境の変化を予測し、対応する姿勢を養う。 現在の地球上の環境問題について学び、この社会を構成する一員として環境問題を改善する姿勢を身に付けたり、実践する意欲を養ったりする。 	学年 末 考查

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	日常生活や社会との関連を図りながら、地球科学についての観察実験を行い、基本的な概念や原理・法則を理解している。また、観察、実験などに関する基本的な技能が身に付いている。	地球科学についての探究の過程を通して、問題を見いだすための観察、仮説の設定、実験の計画及び検証、データ分析、推論などの探究の方法が習得できている。また、報告書の作成や発表を通して適切に表現する力が身に付いている。	主体的に学習に取り組む態度 地球科学に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとしている。その際、自然環境の保全に寄与する態度が身に付いている。

評価方法	定期考査のほか、課題やノートなどの提出物、小テスト、実験観察の技能や態度、授業に取り組む姿勢などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	自分の身の回りの地球科学の現象に関心を持ち、授業で学んだ原理や法則が日常生活や普段見聞きする自然現象、社会現象とどのように関係しているか、考えながら生活しましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	理科	科目	化学研究	単位数	2
学年・科	3年・普通科 キャリア探究コース(総合)、文理探究コース 文系				
教材	教科書	化学研究(小松高校理科編)			
	副教材	学校設定科目用学校作成教材			
学習目標	物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を化学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。				

	教材内容	学習内容	考查
1学期	第1章 物質の構成 第1節 物質の構成 第2節 物質と化学結合	<ul style="list-style-type: none"> 身近な物質を取り上げ、混合物から純物質を分離する操作と科学的に探究する方法を身に付ける。 身近な物質を取り上げ、単体や化合物について理解する。 粒子の熱運動と粒子間に働く力との関係により、物質の状態変化が起こることを理解する。 原子の構造および陽子、中性子、電子の性質を理解する。 イオン結合がイオン間の静電的な引力による結合であることや、イオン結合でできた物質の性質を理解する。 電子配置と共有結合を関連付け、分子の性質を理解する。 自由電子と金属結合を関連付け、金属の性質を理解する。 	中間考查 期末考查
	2学期	第2章 物質の変化 第1節 物質量と化学反応式 第2節 酸・塩基	<ul style="list-style-type: none"> 粒子の数にもとづく量の表し方である物質量の概念を導入し、物質量と質量、物質量と気体の体積との関係について理解する。 水溶液の濃度をモル濃度で表したり、濃度の分かっている水溶液中の溶質の物質量を求めたりすることができる。 化学反応式が化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを見だして理解する。 酸と塩基の定義や分類を理解し、酸と塩基を価数や強弱にもとづいて分類することができる。
3学期		第3章 酸化還元反応	<ul style="list-style-type: none"> 酸と塩基の反応の量的関係を物質量と関連付ける。 中和滴定の実験を通して、それぞれの操作がどのような意味をもっているのかを理解し、実験結果に対してどのような影響があるかを考察できる。 酸化還元反応が電子の授受によることを理解する。 酸化還元反応を酸化数の増減によって判断できる。 酸化還元反応の量的関係を理解する。 金属のイオン化傾向や金属の反応性を理解する。 酸化還元反応の利用例として、電池や電気分解などがあることを理解し、電池の基本的な知識を身に付ける。

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などの、基本的な操作を身に付けている。	自然界や産業界にある事物・現象の中に問題を見つけ、科学的に探究する過程を通して、科学的・論理的に導き出した考えを的確に表現することができる。	自然の事物・現象に関わり、科学的に探究しようとしている。 自然の原理・法則や科学技術と私たちの生活との関わりから、化学に対する興味・関心を高めている。

評価方法	定期考查のほか、課題やノートなどの提出物、小テスト、授業の取り組む態度などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	身近な現象に興味・関心を持ち、インターネットなどを活用して積極的に調べたり、化学に関する本で確認したりしましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	理科	科目	生物研究	単位数	2
学年・科	3年 普通科 キャリア探究コース (総合)				
教材	教科書	生物基礎・生物実験ノート (高教研理科部会生物部門)			
	副教材	新コンセプトノート生物基礎(浜島書店)			
学習目標	生物に関する関心を高め、目的意識を持って観察・実験を行い、科学的な探究に必要な能力と態度を身に付ける。 生物の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を身に付ける。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	第1章 生物の特徴 1 生物の多様性と共通性 2 生物とエネルギー 第2章 遺伝子とその働き 1 遺伝情報とDNA 2 遺伝情報の分配 3 遺伝情報とタンパク質	<ul style="list-style-type: none"> 細胞とその内部構造について、実験観察を通して学ぶ。さまざまな細胞の観察、マイクロメーターの使用法 呼吸と光合成のはたらきを中心に、生命活動のエネルギーと代謝、酵素反応について学習する。 酵素の基礎実験 DNAの構造や性質、遺伝子について学習する。 植物からのDNAの抽出実験 細胞分裂のしくみについて実験観察を通して理解する。 体細胞分裂、減数分裂のしくみとその共通点、相違点 だ腺染色体の観察 	中間 期末 考查
	第3章 生物の体内環境とその維持 1 体内環境 2 体内環境維持のしくみ 3 免疫 第4章 生物の多様性と生態系 1 生態系と物質循環 2 生態系のバランスと保全 第5章 動物の組織・器官とのはたらき	<ul style="list-style-type: none"> 体内環境の維持のしくみや体液のはたらきについて、実験観察を通して理解する。 血球の観察、腎臓の観察、白血球の食作用の観察 生物が地球上の様々な環境に適応することにより生態系の多様性がもたらされていることを理解する。 環境の違いによる植生の変化について理解する。 校庭の植物群落の調査 土壌動物の調査 動物の組織の観察を通して、細胞、組織、器官などはたらきについて理解を深める。 筋肉組織と骨組織の観察 ニワトリの脳の解剖 眼球の観察 	中間 期末 考查
3 学期		ヒトの視覚	学年 末 考查

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象についての観察実験を通して、生物の基本的な概念や原理・法則を理解している。また、観察、実験などに関する基本的な技能が身に付いている。	生物や生物現象についての探究の過程を通して、問題を見いだすための観察、仮説の設定、実験の計画及び検証、データ分析、推論などの探究の方法が習得できている。また、報告書の作成や発表を通して適切に表現する力が身に付いている。	生物や生物現象に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとするなど、科学的に探究する態度が身に付いている。また、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度が身に付いている。

評価方法	定期考查のほか、実験観察の技能や態度及びレポートの内容、単元テスト、授業に取り組む姿勢、提出課題などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	生物基礎の学習内容を復習しながら、授業に臨みましょう。自分の身の回りの生物や生物現象に関心を持ち、授業で学んだ原理や法則が日常生活や普段見聞きする自然現象や社会現象どのように関係しているか、考えながら生活しましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	理科	科目	地学研究	単位数	2
学年・科	3年・普通科 キャリア探究コース（総合）、文理探究コース 文系				
教材	教科書	地学学習帳（愛媛県高等学校教育研究会理科部会地学部門会）			
	副教材	リードLightノート地学基礎（数研出版）			
学習目標	地震活動、火山活動、気象、天体などの地球科学にかかわる現象について、実験活動や問題演習を通じて、理解を深める。また、地球環境問題や自然災害などを通して、減災の意識を向上させるとともに、自然環境の保全に寄与する態度をさらに高める。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	1 経線の長さの比較 2 地震波と地球の内部構造 3 大陸移動 4 海洋底拡大 5 太平洋プレートの移動 6 震央と震源の深さの決定 7 兵庫県南部地震の震度分布 8 P波の初動分布と断層 9 日本付近の震源分布	<ul style="list-style-type: none"> 緯度による経線の違いを学習することにより、地球の形が赤道方向に膨らんだ楕円体であることを理解する。 プレート運動によって、地表面で地震や火山活動が起きていることや、大量絶滅を引き起こしていることを理解する。 大森公式を理解し、地表面付近で起こる地震について、震源距離を計算によって導く。 P波の初動分布から断層運動を推定する。 	<p>中間 考查</p> <p>期末 考查</p>
2 学期	10 火山灰の観察 11 火成岩の分類(1) 12 火成岩の分類(2) 13 結晶の生成過程の観察 14 日射量の測定 15 雲の発生のモデル実験と過冷却水 16 陸海風 17 天気の変化 18 海水の塩分濃度と緯度別蒸発量の関係	<ul style="list-style-type: none"> 火山灰の観察から、火山灰が鉱物からなることを学習し、グラウンドの砂なども鉱物であることを理解する。 火成岩の分類において、火成岩の種類によって密度が異なり、密度が異なることから火成岩を構成している鉱物が異なることを理解する。 比熱の違いによって、同じ日射量でも低気圧を形成する場所と高気圧を形成する場所が異なるということを理解する。 日本列島付近の地理的特徴と気候の変化についての関係性を理解する。 	<p>中間 考查</p> <p>期末 考查</p>
3 学期	19 太陽表面の観察 20 太陽の運動 21 地球温暖化 22 オゾン層の破壊 23 海氷面積の変化 24 海水温とエルニーニョの関係	<ul style="list-style-type: none"> 太陽表面の黒点の観察から太陽が自転していることを理解し、緯度ごとの自転速度の違いから、太陽がガス球であることを学習する。 地球規模で生じている環境問題について、実習を通じてまとめることで、理解を深めるとともに、自然環境の保全に寄与する態度を養う。 	<p>学年 末 考查</p>

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	日常生活や社会との関連を図りながら、地球科学についての観察実験を行い、基本的な概念や原理・法則を理解している。また、観察、実験などに関する基本的な技能が身に付いている。	地球科学についての探究の過程を通して、問題を見いだすための観察、仮説の設定、実験の計画及び検証、データ分析、推論などの探究の方法が習得できている。また、報告書の作成や発表を通して適切に表現する力が身に付いている。	地球科学に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとしている。その際、自然環境の保全に寄与する態度が身に付いている。

評価方法	定期考查のほか、課題やノートなどの提出物、小テスト、授業の取り組み態度などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	自分の身の回りの地球科学の現象に関心を持ち、授業で学んだ原理や法則が日常生活や普段見聞きする自然現象、社会現象とどのように関係しているか、考えながら生活しましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	保健体育	科目	体育	単位数	2
学年・科	3年 普通科				
教材	教科書	現代高等保健体育			
	副教材				
学習目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を身に付ける。				

	教材内容	学習内容	考査
1 学期	1 オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などについて学習する。 ペースの変化に対応して走り、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などについて学習する。 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などについて学習する。 豊かなスポーツライフの設計の仕方について学習する。 	
	2 体づくり運動		
	3 陸上競技		
	4 選択制授業1 ソフトボール、テニス、バドミントン、バレーボール		
	5 体育理論1 生涯スポーツの見方・考え方		
2 学期	6 選択制授業1	<ul style="list-style-type: none"> 健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むことについて学習する。 作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することについて学習する。 ライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方について学習する。また、スポーツの推進は、様々な施策や組織、人々の支援や参画によって支えられていることを学習する。 	
	7 体づくり運動		
	8 選択制授業2 サッカー、テニス、バスケットボール、バドミントン		
	9 体育理論2 ライフスタイルに応じたスポーツを推進する取り組み		
3 学期	10 ウォークラリー	<ul style="list-style-type: none"> 作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することについて学習する。 スポーツの可能性と問題点を踏まえて、適切な「する、みる、支える、知る」などの関わり方について学習する。 	
	11 選択制授業3 サッカー、卓球、バスケットボール、バドミントン		
	12 体育理論3 豊かなスポーツライフの創造		

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	主体的に学習に取り組む態度

評価方法	学習カードやスキルテスト、授業に取り組む態度などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	生涯にわたって運動を豊かに継続することができるよう、体を動かすことの心地よさや、仲間と協力して活動することの楽しさを味わいましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	芸術	科目	音楽研究A	単位数	2
学年・科	3年 普通科 キャリア探究コース				
教材	教科書				
	副教材	音楽通論、こどものうた200、標準バイエルピアノ教則本			
学習目標	ピアノ演奏や歌唱の練習を通して、保育に関する音楽・リズム表現技術の向上を目指します。 保育検定2級合格を目標に、ピアノ奏法、ソルフェージュの基礎を身に付けます。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	バイエルNo. 30～47 童謡歌唱（無伴奏）	ピアノ演奏の基礎的な表現技術について身に付ける。 童謡歌唱の基礎的な表現技術を身に付ける。 基礎的な音楽理論を身に付ける。 ・ピアノの基本的奏法に興味や関心をもち、個人練習により演奏技術を身に付ける。 ・楽譜の構成要素を理解し、ソルフェージュ能力を高める。	実技試験
2 学期	バイエルNo. 48～78 童謡歌唱（無伴奏） 音楽通論	ピアノ演奏の応用的な表現技術について身に付ける。 童謡歌唱の応用的な表現技術を身に付ける。 ・ピアノの基本的奏法に興味や関心をもち、個人練習により演奏技術を身に付ける。 ・楽譜の構成要素を理解し、ソルフェージュ能力を高める。 ・音楽理論の基礎を身に付ける。	実技試験
3 学期	バイエルNo. 79～104 童謡歌唱（弾き歌い） 音楽通論	ピアノ演奏の発展的な表現技術について身に付ける。 童謡歌唱の発展的な表現技術を身に付ける。 ・簡単な伴奏により、弾き歌いができる能力を身に付ける。 ・楽曲の特徴を捉え、より豊かに表現する方法を体得する。 ・音楽理論を深く理解する。	実技試験

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	ピアノの演奏及び歌唱の練習を通して、保育に関する音楽・リズム表現技術を身に付けている。 曲にふさわしい奏法、歌唱法を身に付け、演奏に生かしている。 音楽理論に関する基礎的な知識を理解している。	保育の実際を想定した歌唱方法やピアノの演奏方法を理解し、どのように表現するか意図を持っている。 自分と幼児との関りや、音楽が人格形成に与える影響を考え、豊かな表現を工夫しようとする。	ピアノ奏法を身に付けることや音楽表現を創意工夫しながら演奏活動をするに関心をもち、主体的に学習に取り組もうとしている。 抑揚、アクセント、リズムなどの言葉の特性を感じ取り、意欲をもって歌唱しようとする。

評価方法	授業中の筆記試験や実技試験のほか、授業に取り組む態度などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	家庭でのピアノの練習が必要になります。（キーボードでも構いません。）また、音楽用語などの知識をコツコツ覚えることと、のびのびと豊かに表現することが求められます。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	芸術	科目	美術研究A	単位数	2
学年・科	3年 普通科 キャリア探求コース				
教材	教科書	美術 表現と鑑賞 (開隆堂出版)			
	副教材				
学習目標	1 美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を養うことを目指します。 2 感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、専門的で個性豊かな美術の能力を高めることを目標とします。				

	教材内容	学習内容	考査
1 学期	オリエンテーション 1 表現1 シルクスクリーン 2 表現2 サインボード	・美術研究Aの学習について ・版画の種類 ・アイデアスケッチ ・製版と刷り ・レイアウトと構成 ・アイデアスケッチ	作品・レポート・ワークシート
	3 表現3 4 鑑賞1 5 表現3 卒業制作	・文字のデザイン ・イラストレーション ・パッケージデザイン ・生活を彩るデザイン ・画材と素材研究 ・技法研究	
3 学期	6 鑑賞2	・作品鑑賞	作品・レポート・ワークシート

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

評価方法	各学期の評点は、各活動への取組と、授業内で制作した作品を考慮して総合的に評価します。
アドバイス	制作に関して分からないことや疑問があれば、積極的に質問してください。美術系進路を考えている人は早めに相談に来てください。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	芸術	科目	音楽研究B	単位数	2
学年・科	3年普通科 キャリア探究コース 総合				
教材	教科書				
	副教材	音楽通論、こどものうた200、標準バイエルピアノ教則本			
学習目標	ピアノ演奏や歌唱の練習を通して、保育に関する音楽・リズム表現技術の向上と応用を目指します。 保育検定準1級合格を目標に、ピアノ奏法、ソルフェージュの基礎を身に付けます。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	バイエルNo. 79～104 童謡歌唱（弾き歌い） 音楽通論	ピアノ演奏の発展的な表現技術について身に付ける。 童謡歌唱の発展的な表現技術を身に付ける。 ・簡単な伴奏により、弾き歌いができる能力を身に付ける。 ・楽曲の特徴を捉え、より豊かに表現する方法を体得する。 ・音楽理論を深く理解する。	実技試験
2 学期	バイエルNo. 79～104 童謡歌唱（弾き歌い） 音楽通論	ピアノ演奏の発展的な表現技術について身に付ける。 童謡歌唱の発展的な表現技術を身に付ける。 ・簡単な伴奏により、弾き歌いができる能力を身に付ける。 ・楽曲の特徴を捉え、より豊かに表現する方法を体得する。 ・音楽理論を深く理解する。	実技試験
3 学期	ピアノ曲 童謡歌唱 音楽通論	卒業後を見据え、それぞれの課題を考え歌唱・器楽の表現技術を高める。 ・弾き歌いができる能力を身に付ける。 ・様々な楽曲の特徴を捉え、より豊かに表現する方法を体得する。 ・音楽理論をより深く理解する。	実技試験

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点の趣旨	ピアノの演奏及び歌唱の練習を通して、保育に関する音楽・リズム表現技術を身に付けている。 曲にふさわしい奏法、歌唱法を身に付け、演奏に生かしている。 音楽理論に関する基礎的な知識を理解している。	保育の実際を想定した歌唱方法やピアノの演奏方法を理解し、どのように表現するか意図を持っている。 自分と幼児との関りや、音楽が人格形成に与える影響を考え、豊かな表現を工夫しようとする。	ピアノ奏法を身に付けることや音楽表現を創意工夫しながら演奏活動をするに関心を持ち、主体的に学習に取り組もうとしている。 抑揚、アクセント、リズムなどの言葉の特性を感じ取り、意欲をもって歌唱しようとする。

評価方法	授業中の筆記試験や実技試験のほか、授業に取り組む態度などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	家庭でのピアノの練習が必要になります。（キーボードでも構いません。）また、音楽用語などの知識をコツコツ覚えることと、のびのびと豊かに表現することが求められます。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	芸術	科目	美術研究B	単位数	2
学年・科	3年 普通科 キャリア探求コース 総合				
教材	教科書	美術 表現と鑑賞 (開隆堂出版)			
	副教材				
学習目標	1 美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を養うことを目指します。 2 感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、専門的で個性豊かな美術の能力を高めることを目標とします。				

	教材内容	学習内容	考査
1 学期	オリエンテーション	・美術研究Bの学習について	作品・レポート・ワークシート
	1 表現1	・鉛筆で描く ・木炭で描く ・絵の具で描く	
2 学期	2 鑑賞1	・日本の美術 ・世界の美術	作品・レポート・ワークシート
	2 表現2	・平面構成 ・文字のデザイン ・イラストレーション ・パッケージデザイン	
3 学期	3 鑑賞2	・ポスターのデザイン ・生活を彩るデザイン	作品・レポート・ワークシート
	4 表現3	・空想の世界を描く ・いろいろな画材 ・技法研究	

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

評価方法	各学期の評点は、各活動への取組と、授業内で制作した作品を考慮して総合的に評価します。
アドバイス	制作に関して分からないことや疑問があれば、積極的に質問してください。美術系進路を考えている人は早めに相談に来てください。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションII	単位数	2
学年・科	3年・普通科 キャリア探究コース				
教材	教科書	All Aboard! English Communication II (東京書籍)			
	副教材	All Aboard! English Communication II WORKBOOK (東京書籍)			
学習目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、一定の支援を活用すれば、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりすることができる能力を養う。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	Lesson6 Seeds for Future Generations	・動詞の目的語になる if	中間 考查 期末 考查
	Lesson 7 Over the Wall	・関係副詞 when, where	
2 学期	Lesson 8 Inspiration from Nature	・知覚動詞	中間 考查 期末 考查
	Lesson 9 The Bitter Truth behind Chocolate	・使役動詞	
3 学期	Lesson 10 Fighting Angel Reading 2 Bear's Pie	・分詞構文 ・物語の結末を考え、朗読劇を演じる。	学 年 末 考 査

評価 の 観 点 の 趣 旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<ul style="list-style-type: none"> 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 外国語についての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者を尊重し、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

評価方法	定期考查のほか、実力テスト、授業での小テスト、パフォーマンステスト、課題やノートなどの提出物、授業に取り組む態度などを考慮して、総合的に判断します。
アドバイス	辞書を用意して、自ら学ぶ準備を整えておきましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	外国語	科目	論理・表現Ⅲ	単位数	2
学年・科	3年・普通科キャリア探究コース(総合)、文理探究コース				
教材	教科書	My Way Logic and Expression Ⅲ (三省堂)			
	副教材	My Way Logic and Expression Ⅲ WORKBOOK (三省堂)			
学習目標	話すこと[やり取り]、話すこと[発表]及び書くことの三つの領域を中心とした総合的な言語活動を通して、発信能力を強化するための発展的な活動を行うとともに、支援をほとんど活用しなくても、論理の構成や展開を工夫して、話したり書いたりして相手に伝える、又は相互に伝え合うことができる能力を養う。				

	教材内容	学習内容	考査
1 学期	Lesson 1 Survey Results	・動詞の種類	中間考査 期末考査
	Lesson 2 Writing an Email	・時制	
	Lesson 3 Writing a Blog	・助動詞	
	Lesson 4 Describing Activities	・不定詞・動名詞	
	Lesson 5 Suggesting What to Buy	・分詞・分詞構文	
	Lesson 6 Making a Proposal	・比較	
2 学期	Lesson 7 Making a speech	・関係詞	中間考査 期末考査
	Lesson 8 Writing an Invitation	・仮定法	
	Lesson 9 Suggesting a Solution	・名詞・代名詞	
	Lesson 10 Talking about the Future	・前置詞・接続詞	
	Situation 1 At the Airport	・入国審査	
	Situation 2 Homestay	・ルール説明	
3 学期	Situation 3 Gifts from Japan	・文化の説明	学年末考査
	Situation 4 Lost Items	・電話での問い合わせ	
	Situation 5 Scheduling a Meeting	・時刻の表現	
	Situation 6 Visitor Information Center	・ツアーの説明	
	Situation 7 At a Restaurant	・注文のしかた	
	Situation 8 At the Doctor's Office	・病状を伝える	
	Situation 9 Buying a Ticket	・価格の理解	
	Situation 10 At a Café	・社会を語る	

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<ul style="list-style-type: none"> 英語の特徴やきまりに関する事項及びその働きや役割を理解している。 目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたり伝え合うことができる技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、自律的・主体的に表現しようとしている。 他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、自分の意見や考えなどを整理し、多様な語句や文を用いて、詳しく話したり書いたりして伝え合おうとしている。
評価方法	定期考査のほか、授業での小テストやパフォーマンステスト、課題への取組や授業態度などを考慮して、総合的に評価します。		
アドバイス	間違いを恐れずに、積極的に英語を話したり書いたりするように努めましょう。日頃から外国の文化やニュースにも関心を持ちましょう。		

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	外国語	科目	英語研究B	単位数	2
学年・科	3年・普通科キャリア探求コース(総合)、文理探究コース(文系)				
教材	教科書	NEWSBREAKS for Basic English Learners 2024 (株式会社エミル出版)			
	副教材				
学習目標	時事的な教材を通して、読むこと、書くこと及び話すこと〔発表〕の三つの領域を中心とした発信能力を育成する。特に、スピーチ、プレゼンテーション、ディスカッション、段落の要約を書くことなどを通して、論理の構成や展開を工夫して、話したり書いたりして相手に伝える、又は相互に伝え合うことができる能力を養う。				

	教材内容	学習内容	考査
1 学期	Topic 1 Donating to Charity	○ 分詞 ・大谷翔平選手とチャリティ	中間考査 期末考査
	Topic 2 The Falling Yen	○ 関係代名詞の省略 ・円安	
	Topic 3 Borderless	○ 原形不定詞 ・小澤征爾	
	Topic 4 Fear of Joy?	○ SVOC、SVOO ・恐れるか、楽しむか	
2 学期	Topic 5 Protecting the City of Water	○ 比較 ・ベネチア	中間考査 期末考査
	Topic 6 The Home of High School Baseball	○ 不定詞(副詞的用法) ・甲子園球場	
	Topic 7 Getting Around	○ SV0+to do ・ライドシェア	
	Topic 8 Hemingway is 125	○ 関係代名詞 ・ヘミングウェイ生誕125年	
3 学期	Topic 9 Medicines on Wheels	○ 形式主語 ・移動薬局車	学年末考査
	Topic 10 Are EVs Really Clean?	○ 間接疑問 ・EVは本当にクリーンか?	
	Topic 11 Cleaning Up Space	○ 仮定法 ・宇宙の掃除	

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<ul style="list-style-type: none"> 外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙、表現、文法の知識を身に付けている。 外国語の音声、語彙、表現、文法を、聞くこと・読むこと・話すこと〔やり取り・発表〕・書くことによる実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 場面・目的・状況等に応じて、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。 外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面・目的・状況等に応じて、外国語を用いて、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。 他者を尊重し、聞き手・読み手に配慮しながら、外国語で自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。

評価方法	定期考査のほか、授業での小テストやパフォーマンステスト、課題への取組や授業態度などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	間違いを恐れずに、積極的に英語を話したり書いたりするように努めましょう。日頃から外国の文化やニュースにも関心を持ちましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	普通	科目	課題研究	単位数	4
学年・科	3年・普通科・キャリア探究コース ビジネス				
教材	教科書				
	副教材	課題研究ノート (自作教材)			
学習目標	2年次に学んだ「簿記」「ビジネス計算」「ビジネス文書」「情報処理」「商業経済」の中から自分で課題を見つけ、学習した知識・技術を総合して、その課題の解決を図る学習をします。				

	教材内容	学習内容	考査
1・2 学期	1. 研究テーマの決定	1. 自分自身の興味・関心や進路希望等に応じて個人又はグループで適切な課題を設定します。 (1) より高度な知識・技術の習得 (2) 校内外の竹林整備活動 (3) 地域との共生によるまちづくり (4) 伝統文化の伝承 (5) 多世代交流 などを意識した内容のテーマを決定する。	期末考査
	2. 実施計画の立案	2. 課題の解決を図る方策を検討し、学習計画を立てます。	
	3. 実践	3. (1) 調査、研究、実験、各種検定試験対策 (2) ダンボールコンポストの普及・啓発、販売 (3) 兎之山における実習 などを活用しながら研究を進めていきます。	期末考査
	4. 研究内容の手直し	4. 研究内容の改善を行います。	
3 学期	5. 研究のまとめと成果発表	5. 研究内容をまとめ、成果発表を行います。	学年末考査

評価の観点の趣旨	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	商業全般の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けている。	商業全般に関する課題を発見し、生活産業を担う職業人として解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。	課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、ビジネス経済の発展や社会貢献・ボランティア活動等に主体的かつ共同的に取り組んでいる。

評価方法	研究態度や実習態度、提出物(レポート点)で評価します。定期考査を各学期の期末、学年末に実施します。(年3回)
アドバイス	課題研究は、特定の科目にとらわれず、広く自由な発想で自らが課題を見つけることが大切です。そのためには、日頃から問題意識を持って課題に気付き、継続して課題に取り組むことが重要です。また、地域課題・竹林整備活動等に積極的に参加し、世代間交流を行うことで社会と繋がる勉強をすることも求められています。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	商業	科目	ビジネス・コミュニケーション	単位数	2
学年・科	3年・普通科・キャリア探究コース				
教材	教科書	ビジネス・コミュニケーション (東京法令出版)			
	副教材	全商ビジネスコミュニケーション検定テキスト (実教出版)			
学習目標	ビジネスにおけるコミュニケーションについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識や技能を身に付ける。コミュニケーションに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。さらに、ビジネスを円滑に展開する力の向上を目指して主体的に学び、コミュニケーションを図ることに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	第1章 ビジネスとコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスにおけるコミュニケーションの概要について、組織の階層化と意思決定の流れ、倫理観を踏まえた行動、良好な信頼関係の構築、人的ネットワークの重要性を理解する。 ・自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方を学び、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であることを理解する。 	中間 考查
	第2章 ビジネスマナー	<ul style="list-style-type: none"> ・受付案内などの応対時の挨拶、言葉遣い、表情、電話応対、座席配置などを習得する。 ・慶事、弔事、贈答、会食などについて理解する。 ・販売活動における接客の心構えと方法及びホスピタリティの概念と重要性を習得する。 ・言語コミュニケーションと非言語コミュニケーションの違いと重要性を理解する。 	期末 考查
	第3章 ビジネスにおける思考の方法とコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・言語コミュニケーションと非言語コミュニケーションの違いと重要性を理解する。 	
2 学期	第3章 ビジネスにおける思考の方法とコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスの場面を想定した討論及びテーマを設定したディベートについて理解する。 ・苦情対応、企画などの提案、商品などの説明、ワークショップ、SNSを活用した情報の発信などビジネスの場面におけるコミュニケーションの方法を習得する。 ・相手の考えを迅速に理解して思考し、それを踏まえて考えを伝える工夫、話す速度、話の間の取り方、視線の移動など協働してアイデアを創出する方法を理解する。 ・日本との関わりの深い国に関して、ビジネスを展開する上で踏まえる必要がある文化と習慣について理解する。 ・他国を訪れた際のビジネスの場面での会話、税関や空港での対応など外国人との会話について理解する。 	中間 考查 期末 考查
	第4章 ビジネスと外国語	<ul style="list-style-type: none"> ・日本との関わりの深い国に関して、ビジネスを展開する上で踏まえる必要がある文化と習慣について理解する。 ・他国を訪れた際のビジネスの場面での会話、税関や空港での対応など外国人との会話について理解する。 	
3 学期	第4章 ビジネスにおけるプレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス会議における外国人に対するプレゼンテーションの方法を習得する。 ・輸出入取引の流れ及びビジネスレターと取引に用いられる各種文書の一般的な形式と書き方について理解する。 ・他国とのビジネスでやりとりする電子メールの書き方を習得する。 	学年 末 考 査

評価の観点の趣旨	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	ビジネスコミュニケーションについて実務に即して体系的・系統的に理解し、コミュニケーションをとるうえで関連する知識や技能を身に付けている。	コミュニケーションに関する課題を発見するとともに、コミュニケーションが企業に及ぼす影響を踏まえ、コミュニケーションに関する理論、成功事例や改善を要する事例などについてよりよく解決することについて考えている。	ビジネスを円滑にする力の向上を目指して主体的に学ぶ態度及び組織の一員としての役割を認識して当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築している。日本語や外国語を用いて積極的にコミュニケーションを図っている。

評価方法	(知識・技術) テスト (思考・判断・表現) ワークシート・レポート (主体的に学習に取り組む態度) 観察シート、議事録、ワークシート、授業に取り組む姿勢・態度などを考慮して、総合的に評価します。観点別に評価し、評価はこれを総括する。
アドバイス	日頃からビジネスをはじめとする経済活動に興味・関心を持ちましょう。そのためには買い物に同行し、市場調査を行うなど、社会の変化に敏感になることもよい勉強になるでしょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	商業	科目	簿記	単位数	3
学年・科	3年 普通科 キャリア探究コース ビジネス				
教材	教科書	高校簿記 (実教出版)			
	副教材				
学習目標	<p>商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、取引の記録と財務諸表の作成に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。</p> <p>(2) 企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	第5編 取引の記録と決算Ⅲ 第21章 有価証券とその他の手形取引	<ul style="list-style-type: none"> 有価証券と手形の取引に関する基本的な内容と記帳法を理解する。 有価証券の意味・取得・売却の記帳方法を習得する。 配当金・有価証券利息のメリットを知る。 進んだ決算整理の意味と手順を理解する。 損益計算書と貸借対照表の作成について、図表を使って理解する。 	中間 考查
	第22章 決算 (その3)	<ul style="list-style-type: none"> 損益計算書と貸借対照表の作成について、図表を使って理解する。 	期末 考查
	第6編 本支店の会計 第23章 支店の取引 第24章 本支店の財務諸表の合併	<ul style="list-style-type: none"> 本支店間の取引、支店相互間の取引に関する記帳に思考を深め、仕訳等の手続きをして適切に記帳する方法を理解する。 もう一つの支店間取引の処理、支店が二つある場合の本支店財務諸表の合併について、その処理方法を理解する。 重要仕訳《24章》について理解する。 	
2 学期	発展編 株式会社の記帳 第25章 設立と開業の記帳	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社の設立と開業に関心を高め、その記帳処理を習得する。 重要仕訳《25章》について理解する。 	中間 考查
	第26章 余剰金の処に関する記帳	<ul style="list-style-type: none"> 当期純利益の計上、利益剰余金の処分の意味を理解させ、記帳方法を習得する。 重要仕訳《26章》について理解する。 	期末 考查
	第27章 株式会社の税金の記帳	<ul style="list-style-type: none"> 税金の種類と記帳方法を理解し、理解を一層深める。 法人税・住民税・事業税の記帳について理解する。 重要仕訳《27章》について理解する。 	
3 学期	分野別の復習 ・仕訳 ・伝票 ・記帳 ・決算	<ul style="list-style-type: none"> 分野別に全商簿記実務検定試験対策演習を行い、基礎・基本的事項を理解する。 現代社会で企業がその活動を適切に、効率よく行うために、簿記の流れとしくみを理解する。 	学 年 末 考 査

評価の観点の趣旨	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	簿記の基本的なしくみについて理解している。また、企業における取引の記録・計算・整理に関する基礎的な技術を身に付け、ビジネスの諸活動を計数的に把握し、適切に処理する。	企業における取引の流れに関する諸問題の解決を目指して自ら思考を深め、基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。また、その成果を的確に表現する。	簿記について学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して、当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、責任をもって取り組もうとしている。

評価方法	定期考查のほか、実力テスト、授業での小テスト、課題やノートなどの提出物、授業に取り組む態度などを考慮して、総合的に判断します。全商簿記実務検定に積極的にチャレンジするなど学習を積極的に進めることが大事です。
アドバイス	日本経済の発展に重要な役割を果たしてきたのが、簿記であることを理解し、粘り強く記帳の練習に励む態度を養うことは、将来、みなさんが社会人として生活していくうえで、大いに役立ちます。“簿記は、人類の創造した最高のものの一つ”であります。ゲーテ [ドイツの文学者]

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	商業	科目	情報処理	単位数	3
学年・科	3年 普通科 キャリア探究コース ビジネス				
教材	教科書	情報処理 Prologue of Computer (実教出版)			
	副教材				
学習目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、企業において情報を正しく適切に扱うために必要な資質・能力を身に付ける。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	5章 プレゼンテーション 1節 プレゼンテーションの技法 2節 ビジネスにおけるプレゼンテーション 特集 トレース 1章 企業活動と情報処理 2節 情報モラルと法規 3節 コミュニケーションと情報デザイン 2章 コンピュータシステムと情報処理ネットワーク 1節 コンピュータシステムの概要 2節 情報処理ネットワークのしくみと構成	<ul style="list-style-type: none"> 目的や形態によるプレゼンテーション方法の違いについて理解するとともに、プレゼンテーションソフトウェアを活用した実習を通して、資料の作成などの発表準備から発表までの一連の活動について理解を深める。 情報を正しく扱うためのルールやマナーなどの基礎を再確認し、コミュニケーションとデザインについても理解する。 情報処理に関わる職業や仕事を学ぶことにより、ICT人材に求められる役割と身に付けるべき能力の概要を理解する。 情報の重要性を理解し、情報を分析して、傾向を把握する能力を身に付ける。 	期末 考查
	3節 インターネットの活用 4節 情報セキュリティの確保 3章 情報の集計と分析 1節 ビジネスと統計 2節 関数を利用した表の作成 3節 グラフの作成 4節 情報の整列・検索・抽出 5節 問題の発見と解決の方法 特集 トレース	<ul style="list-style-type: none"> ウェブページを活用して情報検索・収集方法を理解する。 情報セキュリティの重要な役割を理解し、その知識と技術を身に付ける。 基本的な操作や計算式及び関数について理解し、目的に応じて適切な表の作成する技術を身に付ける。 大量のデータを目的に応じた利用しやすい形で活用するために、表計算ソフトのデータベース機能を利用して、整列や検索、抽出の技法について理解する。 	
2 学期	4章 ビジネス文書の作成 1節 ビジネス文書と表現 2節 基本文書の作成 ① ワープロの操作と入力方法 ② ワープロを利用した文書の作成 ③ 社外文書 ④ 社内文書 3節 応用文書の作成 ① 表計算を含んだ文書の作成 ② 表計算とグラフを含んだ文書の作成	<ul style="list-style-type: none"> 文書情報がコミュニケーションの重要な手段として、ビジネスの諸活動の中で果たしている役割や種類について理解する。 文書の構成、構成要素の配置、文書作成の要領について理解する。 基本的な社内文書や社外文書を取り上げて、作成に関する知識と技術について理解する。 応用的な文書の作成に関する知識と技術について理解する。 ビジネス活動におけるプレゼンテーションの意義を理解するとともに、基礎的な技法を身に付ける。 	期末 考查
3 学期			

評価の観点の趣旨	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	企業において情報を扱うことについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業において情報を適切に扱うことに主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

評価方法	定期考查のほか、課題やノートなどの提出物、授業に取り組む態度などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	日頃から情報収集・発信に興味・関心を持ち、インターネットなどを活用して積極的に調べたことを、表やグラフにまとめて分析する力をつけましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	家庭	科目	生活と福祉	単位数	2
学年・科	3年 普通科 キャリア探究コース 総合				
教材	教科書	生活と福祉 (実教出版)			
	副教材				
学習目標	家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、高齢者の自立生活支援と福祉の充実を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目指します。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	第1章 健康と生活	1 健康に関する諸概念	【介護の実習】 ・手洗い ・デイサービス実習1 ・デイサービス実習2 ・レクリエーション
	第7章 生活支援	1 生活支援の考え方 2 レクリエーション	
2 学期	第2章 少子高齢化の現状と高齢者の特徴	1 少子高齢化の現状 2 家族・地域の変化 3 高齢者の心身の特徴 4 高齢者の病気 5 高齢者に見られる主な疾患や症状 6 高齢者の生活課題と施策	<ul style="list-style-type: none"> ・体位変換 ・ベッドメイキング ・車いすの移乗・移動の介護 ・歩行介助 ・衣服の着脱の介護 ・からだの清潔の介護 ・食事の介護 ・災害時の介護
	第3章 高齢者の自立支援	1 人間の尊厳 2 高齢者介護の考え方 3 コミュニケーションと介護	
	第4章 高齢者支援の法律と制度	1 社会保障・社会福祉制度のしくみ 2 介護保険制度のしくみ 3 さまざまな高齢者支援のしくみ 4 地域共生社会	
3 学期			<ul style="list-style-type: none"> ・看護の実習

評価の観点の趣旨	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	高齢者の健康と生活、介護などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術が身に付いている。	高齢者の健康と生活、介護などに関する課題を発見し、高齢者の自立生活支援と福祉の充実を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々の豊かな生活の実現を目指して自ら学び、高齢者の生活の質の向上と自立生活支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

評価方法	定期考查のほか、レポートや感想文などの提出物、実習技術、授業に取り組む態度などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	校内外での実習を通して、自分自身を見つめ、コミュニケーション能力や介護技術を身に付けましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	家庭	科目	フードデザイン	単位数	2
学年・科	3年 普通科 キャリア探究コース ビジネス				
教材	教科書	フードデザイン Food Changes LIFE (教育図書)			
	副教材	調理実習ノート 基礎編 専門編 (愛媛県高等学校教育研究会家庭部会)			
学習目標	家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食生活を総合的にデザインするとともに食育を推進し、食生活の充実向上を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目指します。				

	教材内容	学習内容	考査
1 学期	第1章 健康と食生活	1 食事の意義と役割 ① なぜ食べるのだろうか	期末考査
	第2章 栄養素と食品	1 栄養素と消化・吸収 ① からだは何でできている? ② 消化・吸収のしくみ ③ 栄養素の役割 (調理実習1) 2 各栄養素のはたらき (調理実習2) (調理実習3)	
2 学期	第2章 栄養素と食品	3 食品とその特徴 ① 穀類 ② いも類 ③ 砂糖類・甘味料 ④ 豆類 (調理実習4) ⑤ 種実類 ⑥ 野菜類 ⑦ 果実類 ⑧きのこ類 (調理実習5) ⑨ 海藻類 ⑩ 魚介類 ⑪ 肉類 ⑫ 卵類 (調理実習6) ⑬ 牛乳・乳製 ⑭ 油脂類 ⑮ 寒天・ゼラチン	
	第5章 各国料理とコーディネート 1 料理の様式 2 テーブルコーディネート	① 日本料理の様式 ② 西洋料理の様式 ③ 中国料理の様式 (調理実習7) ① 日本料理のコーディネート (調理実習8) ② 西洋料理のコーディネート ③ 中国料理のコーディネート	学年末考査

評価の観点の趣旨	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術が身に付いている。	食生活の現状から食生活全般に関する課題を発見し、食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	食生活の充実向上を目指して自ら学び、食生活の総合的なデザインと食育の推進に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

評価方法	定期考査のほか、課題やノートなどの提出物、実習や授業に取り組む態度などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	調理実習については、エプロン、三角巾の準備をしましょう。家庭で予習、復習をし、実習に真剣に取り組み、調理技術や知識を身に付ける努力をしましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	情報	科目	情報の表現と管理	単位数	2
学年・科	3年・普通科 キャリア探究コース 総合				
教材	教科書	情報の表現と管理 (実教出版)			
	副教材				
学習目標	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うなどを通して、情報産業の維持と発展を支える情報の表現と管理に必要な資質・能力を身に付ける。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	オリエンテーション 1章 情報社会と情報の表現 1節 メディアと情報の表現 2節 情報社会における情報の表現 2章 メディアの特性とその表現 1節 文字・図解による表現 2節 音による表現	<ul style="list-style-type: none"> ・学習目標とシラバスについて知る。 ・情報社会の発展による、コミュニケーションの方法やメディアの変化について学習する。 ・情報機器とメディアの発達、情報の表現方法の変化について学習する。 ・文字のデザインや文章理解を助けるために用いる図解について学習する。 ・音のデジタル化する仕組みと、その表現について学習する。 	期末 考查
2 学期	3節 静止画による表現 4節 動画による表現 5節 データサイエンスとデータの表現 6節 情報の発信 7節 コミュニケーションの基礎 3章 情報の管理 1節 情報の管理とドキュメンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・静止画の構造と表現について学習する。 ・映像の編集方法を通し、動画の作成と表現方法について学習する。 ・データの収集、整理、分析、解釈の方法について学習する。 ・目的に沿って整理した情報の発信・伝達について学習する。 ・相互理解をするためのコミュニケーションにおける配慮すべき事項について学習する。 ・文書の整理、管理方法について学習する。 	期末 考查
3 学期	2節 コンピュータによる情報の管理 3節 情報の保護とセキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータによる基本的な情報の管理について学習する。 ・コンピュータにおける脅威に対抗するための知識であるセキュリティについて学習する。 	学年 末 考查

評価 の 観点 の 趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	文字・画像・映像・音声などの特色や活用法について理解している。	コミュニケーションやプレゼンテーションの基礎的・基本的な技術を習得し、表現している。	情報を管理し活用する能力と態度を身に付け、課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。

評価方法	3つの観点の達成度を「定期考查」「実習の課題」「実習や授業の態度」等を基に総合的に評価します。
アドバイス	誰でも簡単に情報の収集や発信ができる時代です。授業を通して「情報を活用する能力や態度」の基礎・基本を身に付けてください。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	保健体育	科目	スポーツⅡ	単位数	2
学年・科	3年 普通科 キャリア探究コース 総合				
教材	教科書	現代高等保健体育			
	副教材				
学習目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を身に付ける。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	1 オリエンテーション	・球技の推進や発展に向けた多様なかかわり方について学習する。	
	2 選択制授業1	・ゴール型、ネット型、ベースボール型、ターゲット型の球技から選択し、ルールや用具、競技人数や競技場所を工夫して、スポーツの多様な楽しさを味わえるように学習する。	
	3 グループマッチの企画・運営	・行事の目的に応じた企画・運営を行い、自他の「する、みる、支える、知る」などの多様な関わり方について学習する。	
2 学期	4 選択制授業2	・ゴール型、ネット型、ベースボール型、ターゲット型の球技から選択し、ルールや用具、競技人数や競技場所を工夫して、スポーツの多様な楽しさを味わえるように学習する。	
	5 グループマッチの企画・運営	・行事の目的に応じた企画・運営を行い、自他の「する、みる、支える、知る」などの多様な関わり方について学習する。	
3 学期	6 選択制授業3	・ゴール型、ネット型、ベースボール型、ターゲット型の球技から選択し、ルールや用具、競技人数や競技場所を工夫して、スポーツの多様な楽しさを味わえるように学習する。	

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	球技の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付けている。	球技における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を身に付けている。	球技の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を身に付けている。

評価方法	学習カードの内容や、授業に取り組む態度などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	生涯を通してスポーツの推進や発展に寄与できる態度を身に付けるために、スポーツを楽しく実践する多様な方法について学習しましょう。